

“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

むらのおと

季刊誌
「むらのおと」
Vol. 26
2020.summer

vol.26
2020
Summer



2020年9月1日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX054-221-2809

無料



むらトリップ mura trip 清水エリア(静岡市)

- 原・新丹谷
- 布沢
- 浜石岳と八千代の桜
- 清水区西里



イベントカレンダー

- **Foreigner's Eye**
- 森町南部(森町)
- 日本一の水わさびの邑(伊豆市)
- フィールドワークレポート
- 田方農業高校
- 小谷あゆみの「むらレポ」Vol.17
- 石部赤根田村百笑の里(松崎町)

むらの声 mura note file

- 戸田(沼津市)
- 大淵笹場(富士市)
- 間の宿 菊川(島田市)
- 岩田(磐田市)



季刊誌「むらのおと」



2020年9月1日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX054-221-2809

無料

第6回静岡県 農村の魅力フォトコンテスト

テーマ 今、過ごしたいと感じる農山村の瞬間

2018年度入賞作品「半夏生の里」天方(周智郡森町) 牧野 光伸



2019年度入賞作品▲
「子供たちの夢」/ 篠澤芳治
こがねの里(菊川市)



2018年度入賞作品▲
「休日のひととき」/ 露木義光
石部赤根田村百笑の里
(賀茂郡松崎町)

みなさんが見つけた静岡県内の美しい農山村の写真を募集しています

作品募集中

応募締切: 2021年1月7日(木)

- **一般部門**
写真データをメールまたはCD-R等に保存したものを郵送して応募
応募先
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6静岡県庁西館9F
静岡県土地改良事業団体連合会内
(メールアドレス)
photocon.shizuoka@gmail.com
TEL.054-255-5151
- **SNS部門**
公式facebookに写真を投稿、またはinstagramにて、「#第6回静岡農村フォト」で応募
Facebook Instagram

詳しくはHPをチェック!
ホームページ 静岡県農地保全課
<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-460/index.html>

むらサポ しずおか農山村サポーター

オフィシャルウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net
しずおか むらサポ 検索

Facebook
www.facebook.com/shizuokamurasapo/

ふじのくに 美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合

オフィシャルウェブサイト
www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索

Facebook
www.facebook.com/muradoki/
ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム『邑ドキッ!』



26
2020
summer

CONTENTS

むらの声 mura note file

- 03 #01 戸田 (沼津市)
 - 05 #02 大淵笹場 (富士市)
 - 07 #03 間の宿 菊川 (菊川市)
 - 09 #04 岩田 (磐田市)
-
- 11 小谷あゆみの「むらレポ」Vol.17
石部赤根田村百笑の里 (松崎町)
 - 13 フィールドワークレポート
田方農業高校
日本一の水わさびの邑 (伊豆市)
 - 14 Foreigner's Eye
森町南部 (森町)
 - 15 むらとりっぷ【清水エリア】(静岡市)
●原・新丹谷
●布沢
●浜石岳と八千代の桜
●清水区西里
 - 17 イベントカレンダー



表紙／殿(藤枝市)
「虫送り」は、古くから行われてきた害虫を焼きはらう農行事。殿では毎年8月下旬、松明を焚いた地元の子供たちが「田の虫おーくれー」という掛け声を上げ、鐘を鳴らして虫送りをしている様子が、夏の風物詩となっています。

ひまわりランド／浮島 (沼津市)



日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和2年8月現在で137地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、137の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳細情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



登録 137 邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

ふじのくに美しく品格のある邑って?

邑びとメッセージ

田舎が好きなのは、一度戸田で農業をやってみませんか？

ホテルやタチバナなど、古いものが純粹に残っているのが、この地域の一つの特色。いろんな魅力があるので、ぜひ戸田に来て、その良さを体感してください。今の課題は田畑の衰退の解消。私の職場でも、東京出身の若手が田んぼをやっています。定年後の方でも、田舎が好きなのは、戸田で一度農業をやってみませんか？



長倉建治さん

戸田出身。30年超勤めたJAを早期退職後、戸田の沼津市合併に伴い戸田森林組合へ。現在は同組合長を務める。一方で「へだたちはなの会」会長として橋の保護・普及に尽力。長きにわたり地域活性化に奔走している。

が日本古来の柑橘・タチバナです。特に戸田に自生するのは、最も原種に近いとされる希少種。薬効の高さと爽快な香りを武器に、ジャムやリキュール、アロマオイル、ビールなど様々な加工品が開発され、土産物としても好評です。近年は、他県からの商品化オフアームも増加。今年3月には、浜松市の農園が作った戸田タチバナのマーレードが英国の世界大会で最高金賞を受賞するなど、国内外から注目を集めています。

そして今また、邑の農林業を盛り上げる新たな

なプロジェクトが2つ始まっています。一つは、「舟山のたくあん」の復活。昔は船人たちが漬物樽ごと買って行ったという逸品を再現すべく、先人に教えを請いながら、大根から栽培。名物化を目指しています。もう一つは、来年度から小中一貫になる学校に、地元の木でスクールロッカーを作ることに思い出も詰め込まれていくロッカーは、将来きつと、故郷のシンボルとなるはず。これは、邑の木工業創始の第一歩になるかもしれません。

原種に近い戸田タチバナに国内外からも熱視線



①舟山のたくあんは、一から手作りして、新名物化を目指しています。②邑の森には「はかま滝オートキャンプ場」もあり、海水浴とセットで楽しめると首都圏の親子連れに人気。③部田神社は地域の氏神。毎年10月第1日曜に開催の部田神社祭典、4月の諸口神社祭典、7月の港まつりは、地域の3大祭りです。

event information

「戸田港まつり」

- 開催/毎年7月下旬頃(今年は開催中止)
- 会場/戸田港中央棧橋付近
- 内容/ロードパレード、供養祭、海上花火大会など

「部田神社祭典」

- 開催/毎年10月第1日曜日
- 内容/五穀豊穡に感謝する秋祭り

「戸田さんさんまつり」

- 開催/毎年11月第1日曜日
- 会場/戸田御浜崎公園
- 内容/戸田・近隣市町のB級グルメフェア、地元農産物即売会など

「深海魚まつり」

- 開催/春秋に定期的に開催
- 会場/戸田漁港ほか
- 内容/とれたての深海魚にふれあえる人気イベント

「はかま滝オートキャンプフェスタ・オートキャンプフェスタ」

- 開催/毎年6月と10月の2日間
- 会場/はかま滝オートキャンプ場
- 内容/ネイチャークラフト、燗製つくり、ホテル観賞会(6月)など

戸田橋を使った商品 買いに来て!

古事記や日本書紀にも「不老不死の霊薬」と記されるタチバナ。無農薬・有機栽培で大切に育てた戸田タチバナは、薬効もあり香り高いのが特徴で、近年は枝葉も蒸し風呂や染物の材料として需要があります。ジャムやお茶、サイダー、スパイス、シャンプー・リンスや精油、リキュール「弟橋姫」など様々な商品に加工されており、道の駅「くろら戸田」や戸田橋香房、へだたちはなの会事務局(戸田森林組合内)などで購入可能。お土産・贈答品にもおススメ!



北山の棚田は、約400年前に富士宮の北山地区から移り住んだ人々によって開墾されたことが名前の由来。

深遠な海山に
タチバナの爽

育まれた港町に
やかな風が吹く

新たな特産品発掘へ、
キーポイントは地場資源の
見直しと原点回帰

伊豆市との境にある達磨山から望む戸田集落。三方を険しい山に囲まれている。

地元の小学4年生を対象にした田植えと稲刈り体験。



沼津市の南端に位置する戸田地区は、古くから遠洋漁業で栄えた漁師町。近年は深海魚が名物になっていますが、実はエリアの8割以上が森林という深き山々に抱かれた小さな郷です。天然のホテルが生息するほど清らかな溪流は、田畑を潤しています。邑を象徴するのは新田集落に広がる「北山の棚田」です。約400年前に開拓された千枚田は石垣が美しく、「日本の棚田百選」にも選ばれました。住民の高齢化で年々耕作放棄

棄地が増えていく中、農家民宿を営む有志らがボランティアを募って保全に尽力しています。地域には休耕地を借りて有機農業に励む若い移住者もいます。ただ、後継者不足は大きな課題。そこで、地元の小中学生に農林業に親しんでもらおうと、戸田森林組合が体験学習を実施。中学生は間伐体験や機械の見学などから森や林業の役割を学び、小学生は田植え・稲刈りを通して農業や自然への興味を深め、自ら収穫した米を地場食材とともに味わう食育へつなげています。温暖な傾斜地では、昔からシキミやミカン、シイタケの栽培が盛んでしたが、新たな特産品として6次産業化に成功したの



沼津市戸田1294-3 (道の駅「くろら戸田」)



●東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから国道414号(三津・古宇)経由、または伊豆縦貫道(三島・修善寺)経由で約80分
●電車・バス/伊豆箱根鉄道修善寺駅から東海バス「戸田」行きで約50分

『日本』の象徴 『富士山と茶畑』が織りなす 奇跡の絶景


あえて不便さを受け入れ
秘境の美を守る

大淵笹場の緑茶・紅茶 飲んでみて!
大淵笹場では、緑茶、紅茶、ほうじ茶の3種類を製品化。紅茶は昨年度の「ふじのくに山のお茶100選」にも認定。今後は地元百貨店や商業施設での販売も目指していますが、現在はJR東海の通販サイト『いいもの探訪』で笹場産の緑茶・紅茶ティーバックセット(各3g×8袋、税込3,294円)を販売中。JR東海『いいもの探訪』
<http://e-mono.jr-central.co.jp/s-hop/pages/e-mono.aspx>

葛飾北斎が描いた富嶽三十六景『駿州片倉茶園ノ不二』の地から北へ約3km。集落から伸びる鬱蒼とした林道を抜けると、突如、丘一面に広がる茶畑と霊峰富士の大バノラマが現れます。幾重にも連なる半円型の茶樹の畝は、まるで緑の波のよう。特に新茶の季節は、眩い萌黄の海原越しに残雪の富士がそびえ、奇跡の絶景を生み出します。富士山南麓は古くから茶栽培が盛んな地域ですが、大淵笹場には電線や防霜ファンなどの人工物がありません。その光景は、写真愛好家を中心に口コミで広がり、今や国内外から年間一万余千人の観光客が訪れる名勝地になっています。この明媚な景色を守っているのは、地元有志からなる『大淵二丁目ささば景観保存会』です。農家の高齢化などに伴い、笹場も一時は荒廃しましたが、先人が苦勞して築き上げた宝物である茶園を、「素朴で美しいまま

後世へ残したい」と保全活動が始まりました。電気もない辺境地では、茶摘みに乗用機械は使えず、有機栽培のため難儀な草取りも全て人力。それでも、昔の情趣を保つため、あえて不便さを甘受する姿勢に、彼らの気概を感じます。そんな景観保存会の最終目標は、新たな観光産業創出と茶文化振興の拠点として、『富士山と茶畑の郷・笹場』をメジャーにすること。そこでまず、ブランド化を目指して緑茶・紅茶・ほうじ茶を開発。特に笹場の溶岩土の豊富なミネラルを吸い、より旨みを増すために富士山の山室で一年間寝かせた紅茶は、味も香りもクリアでふくよか。3月下旬からJR東海の通販サイト『いいもの探訪』で緑茶・紅茶セットの販売が始まり、売上の一部が保存会の活動費になっています。毎年5月3日には『おおぶちお茶まつり』を開催。地元小中学生が扮した茶娘が、絶景の中で新茶を摘む姿を撮影できるフォトセッション企画は、大盛況を博しています。

大淵笹場
おおぶちささば



富士市大淵1516 (旧藤田邸)

- 東名高速富士ICまたは新東名高速新富士ICから約10分
- 電車・バス/JR富士駅または富士急静岡バス吉原中央駅より曾比奈・ふじやまくすのき学園前行きバスで「曾比奈下」下車、徒歩約20分

※実際の場所は旧藤田邸より約300メートル(案内看板あり)



①「大淵二丁目ささば景観保存会」は現在17名で活動。後継者を増やすためにも、今後は法人化を目指しています。
②新しい芽が出る前に余計な葉を刈って木を整える、ならし作業。この摘採機だからこそ、畝がかまぼこ型の愛らしい形に。
③観光客による茶摘み体験。

新たな観光産業と日本文化発信拠点として『笹場』のメジャー化を目指す！

語りとメッセージ

富士山が見えるときの茶畑の景色は大満足の美しさです！とにかく、先人が作り上げてきた茶畑を守っていききたい、さらに綺麗にしていきたいとの思いで活動しています。その結果、多くの人に来てくれたらありがたいです。笹場の茶畑の景色は、特に新茶の時期がオススメです。富士山が見えると、我々でも「いいなあ」と感じるほど美しい。本当に満足できると思うので、ぜひ、写真を撮ったり、散歩したり、遊びに来てください。



藤田公孝さん
大淵出身。60歳まで会社員として働き、定年退職を機に実家の茶栽培に本格的に取り組む。サラリーマン時代は茶摘みなどはしていたものの、茶づくりは素人同然で、勉強したという。現在は大淵二丁目 ささば景観保存会 会長。

さらなる邑おこし事業の展開はこれからですが、今後は、ブランド茶の販路拡大、散策路における売店・休憩処の設置、地元旧家の邸宅を活用した地場料理の提供、遊休農地で育てた野菜の販売など、様々な企画を計画。他にも茶園のオーナー制度導入など、ビジョンは明確で、夢は膨らむばかりです。



event information

「おおぶちお茶まつり」

- 開催/毎年5月3日(祝)
- 会場/大淵笹場
- 内容/地元小中学生による茶娘が茶摘みをする風景の撮影会、露店でお茶の販売や新茶の天ぶらの無料振舞いなど
- 問合せ先/大淵まちづくりセンター ☎0545-35-0002



国内外から訪れる多くの観光客に笹場とお茶の魅力を発信。



約2.3ヘクタールの広大な茶畑と富士山の構図は圧巻! 日本を代表する風景は、富士山静岡空港や企業広告などにも使われています。



邑びとメッセージ

農のある豊かな暮らし
心もからだも健康に

春にはわらびなどの山菜、色とりどりの夏野菜に、秋のお米など、季節ごとに収穫する食材にあふれ、鳥や虫の声、川のせせらぎに癒される“季節とともに暮らす生活”が残る菊川地区。そんな自然に包まれて一緒に活動してくれる仲間を募集中です。外からの視点で、地元の人では気づかない新しい魅力を見つけてください。



山本健太さん

2020年5月より、地域のにぎわいをつくる「ごりやくの会」会長に就任。若手ならではのアイデアと行動力で奔走中。鍼灸師として15年、島田市と浜松市に店を持つ。フットサルやスノーボード、ボルダリングなど、体を動かすことが好き。隣は奥様の実穂さん。一緒に活動を行なっている。

開催したいと意気込みます。他にも、管理が行き届かない茶畑の一部を利用して新たにみかんの果樹を植えたり、お茶の魅力を知ってもらうために近隣の陶芸家とコラボして急須や湯飲みを作ったら面白いかも、などアイデアは尽きません。

活動を続けるために、稼げる仕組み作りにも取り組んでいます。「茶畑や田んぼが広がり、四季の移ろいを感じられる菊川地区は、都会とはちがう人間本来的な自然なリズムが流れる、ほっとリラックスできる場所。まちの人たちが安心して遊びに来られる。第2のふるさと“になっ てくれたらうれしいですね”と夢を語る山本さん。先代が培ってきたコミュニティやイベントを大切に引き継ぎ、若者ならではの視点で邑の活性化を目指します。かつて東海道を歩く旅人をもてなしてきたように、間の宿はこれからも、訪れる人を優しく出迎えてくれるでしょう。



手摘みした茶葉を陰干して、100度に熱した鍋で丁寧に混ぜる。茶葉がしなってきたら木綿袋に入れてもみ、余分な水分を抜く作業を繰り返す。できあがった釜炒り茶を熱めのお湯でいただくと、口の中に茶のうま味が広がります。

地域の資源を活用し 第二のふるさとを作る

柔軟な発想と行動力で
地域外から若者を呼ぶ

島田市南西部にある菊川地区は、丘陵地の斜面に茶園が広がるのどかな場所。東海道の金谷宿と日坂宿の間にある宿として古くから栄え、周囲には数多くの史跡が残っています。地元住民の有志「ごりやくの会」が中心になって、石畳を歩くさわやかウォークや、茶の実オイルを使った灯りアート、陶芸家の工房やギャラリーを巡る里山アートといったイベントを開催し、地域の活性化に取り組んできました。メンバーは20名ほどで、60代〜70代の高齢者がほとんどでした。

が、この5月、地元で鍼灸業を営む30代の山本さんが新代表に！若手経営者の集まりで知り合った友人も加入して、会を運営していくことになりました。最初に考えたのは、地域資源である茶畑を生かすこと。もともと耕作放棄地だった1反ほどの茶畑を同会が管理していたこともあり、このお茶の葉を使って釜炒り茶を作ってみることにしました。茶農家さんにも教えてもらいながら完成したお茶は、素朴でありながら、ふくよかな味わい。来年はイベントを



香り豊かでうま味たっぷりの一番茶を抹茶にした「贅沢抹茶」。邑のお茶屋さん「茶蔵」やオンラインショップで販売。
茶蔵：島田市菊川136
<http://chakura-kny.info>

お年寄りの知恵と若者の視点で、魅力発信

間の宿 菊川

あいのやど きくがわ

島田市菊川643-2(菊川の里会館)

- 車/国道1号線バイパス 菊川ICから南へ1分
- 電車・バス/JR東海道本線金谷駅から徒歩40分



- 1 毎年お盆に「灯りアート」を開催。お茶の実から絞った貴重なオイルを使った、竹の灯ろう108本が並び幻想的。ライブの音が山間の邑に響き渡ります。
- 2 里山の素材をふんだんに使ったミニ門松作りのワークショップ。
- 3 「ごりやくの会」メンバー、世代を超え、地域のために楽しんで活動しています。



耕作放棄地を再生し 農育・食育の場に

年間80回以上の植栽活動と
20回を超えるイベントを開催
世代交流の場として機能

天竜川と磐田原台地の間に広がるのどかな田園風景。この岩田地区で10年以上活動を続ける「岩田故郷（ふるさと）の会」は、農家の担い手の減少により増え、また耕作放棄地を元の畑に戻し、花や野菜、穀物、果樹を植栽する活動に取り組んでいます。15年ほど放棄され、ジャングルのように荒れ果てた約450坪の畑を10カ月かけて再生。ジャングル農園と名付けられたこの場所では、紅花やオリーブを育てています。6つの耕作放棄地を再生し、小学校農園やラベンダー農園と名付けられた4つの農園を管理。地域住

民や地元小学校に向けたイベントも運営します。「大人だけでなく、地域の子どもたちにも参加してもらおうと、将来、農業関連の仕事に就ききっかけになったら

岩田
いわた

磐田市勾板上615-1
(岩田交流センター内)

●車/東名高速磐田ICから約15分

event information

「オリーブ塩漬け体験」
9月19日(土) 9:00~12:00

「オリーブ油しぼり」
10月18日(日)・25日(日) 9:00~12:00

●会場/岩田交流センター
●天候などにより延期の場合あり。
※イベントの詳細はFacebookで確認を
<https://www.facebook.com/aoshimakry>



6年前に栽培をはじめたオリーブは、現在5種類30本以上を栽培。毎年9月には塩漬け用のオリーブ摘みのイベントを開催。重曹を使って洗抜きし、完成した塩漬けオリーブはピザなどにトッピングし、みんなでおいしくいただきます。



見に来た!
7月下旬にはヒマワリが咲き、11月にはコスモスが見頃を迎えます。場所はジャングル農園(勾板上公会堂南東、徒歩2分)



ラベンダースティック



①8月に種まきを行い、11月には一面が色とりどりのコスモスで埋め尽くされます。
②親子でソバの種まき体験。収穫したソバの実は、足踏み機械を使い脱穀し、製粉。後日、ソバ打ち体験をし、作る、食べる、学ぶを実践。
③地元磐田駅で行われる軽トラ市に出店し、コマツナやラディッシュなどの野菜や自家製小麦などを販売。

四季折々の花や農作物を通じ、地域を結ぶ

いいなと考えています」と話すのは、事務局長の青島保一さん。地元の岩田交流センターと共同でジャガイモ掘りやソバの脱穀といった食育講座、紅花やラベンダーを使った草木染め、野菜の植え付けや収穫など、年間80回以上の植栽活動と20回を超えるイベントの開催を行っているというから驚き。ラベンダーを使ったスティック作りや紅花を集めて行う草木染め、オリーブの実を手搾りして作るオリーブ油、自家製小麦のピザ生地作りなどが人気のメニュー。活動の様子はここ3年間毎日Facebookに投稿するなど、情報発信にも積極的です。「SNS映える写真を撮

るのは難しいね」と笑う青島さん。また、無農薬で作った小麦や野菜は、磐田駅前のジュビロードで行われる軽トラ市で販売し、売上は社会福祉団体に寄付しているそう。他にも、草木染めの出張ワークショップなど、積極的に関わり活動のPRしていきます。「この活動が地元の農地保全だけにとどまらず、地域おこしや参加者のコミュニケーションの場にもなっていることがうれしいですね。私たちがメンバーが楽しみ、参加者と一緒に、今後も活動を続けていきたいと思えます」

昆びとメッセージ

毎週土曜日に活動中
気軽に参加ください

チューリップや菜の花、ヒマワリ、ラベンダー、コスモスなど、一年を通じて花が咲き、訪れる人の目を楽しませてくれる岩田地区。草木染めにも使う紅花の畑は、静岡県有数の広さを誇ります。実は、「花のまちふるさと岩田」というオリジナルソングも作ってしまいました(笑)。お友だちを誘って、ぜひ遊びに来てください。



青島保一さん
岩田地区の自治会長を経て、岩田故郷の会事務局局長に。花や野菜などの作付け計画、イベントの企画、写真撮影など、マルチに活躍。かつてプロのサクソフォン奏者を目指し、今はエアロフォン奏者として老人ホームや幼稚園などで演奏する。

今年度は
棚田特集

「棚田地域振興法」制定など
棚田を取り巻く
環境が変わるなか、
活動に取り組む人々の
姿を特集します。

静岡県ふじのくに美しく品格のある田づくり推進委員
小谷あゆみの
「むらレポ」
Vol. 17



小谷あゆみ

フリーアナウンサー／農業ジャーナリスト 野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしを提唱。全国の農村取材。NHKEテレ「ハートネットTV 介護百人一首」司会、ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」静岡県ふじのくに美しく品格のある田づくり推進委員、農林水産省 世界農業遺産等専門家会議委員、棚田学会評議員

棚田のあたらしい時代

地域まるごと
見せて売る

棚田はみんなのふるさと
いつでもおかえりなさい

静岡県松崎町にある「石部の棚田」は、約370枚の小さな田んぼが山から港に向かって連なるそれは美しい棚田です。耕作放棄の時代からむらびとが一念発起して、平成12（2000）年に復田が始まり、今では県内外105組の棚田オーナーにぎわいを生んでいます。

今年の田植えイベントはコロナで見送られ、機械植えに切り替えましたが、訪ねたときには青々とした稲のそよぎを見せてくれました。

高橋治さん（78）を3代目会長とする「石部棚田保存会」は80代3人を筆頭に40代まで平均年齢74.5歳のメンバー9人と地域おこし協力隊で運営してきましたが、令和元（2019）年、「棚田地域振興法」が制定され、国の支援が始まったことを受けて、「石部棚田振興協議会」を設立し、役場時代から棚田を支えてきた山本公さん（61）を会長にバージョンアップを図ります。

いま活動する地域おこし協力隊は2人。町内出身で三島からリターンした高橋匡史さん（29）と、神奈川県出身の鎌田寛正さん（28）です。匡史さんは、小学生時代、この



桜葉の摘み取りをする高橋むつ子さん（左）と渡辺セイ子さん（右）

棚田では、町特産の桜葉も生産



棚田交流棟で棚田の将来の夢を聞きました



桜葉そば、桜葉クッキー、棚田の黒米うどん、百笑一喜（棚田の黒米・赤米を原料にした焼酎）



桜葉もちのお店は3軒それぞれ特徴がある

桜葉の塩漬け 小泉商店の 小泉邦夫さん。昔はこんな大桶で漬けていました。



さらなる棚田のキーパーソンは、2014年に地域おこし協力隊として東京から移住して7年、今では協議会の事務局を務める有馬稔さん（49）です。松崎町には海や山のレジャーもあり、伊豆の別荘エリア

里海と里山・棚田で遊んで健康サービスを売る

一日草刈りをしてふと振り返ったとき、草ボーボーだった畔から石積みが見えて美しい。俺がやった仕事だと惚れ惚れするそうです。成果が目に見えて美しいのは棚田ならでは。棚田の生産者は食料だけでなく、「美」を創造しているのです。毎日の水管理は気を抜かずハードですが、棚田をもっと多くの人に見てもらおうと、環境教育の場づくり、ほかの農産物での高収益化など、夢やアイデアあふれる2人です。

若い2人の農作業での達成感は、一日草刈りをしてふと振り返ったとき、草ボーボーだった畔から石積みが見えて美しい。俺がやった仕事だと惚れ惚れするそうです。成果が目に見えて美しいのは棚田ならでは。棚田の生産者は食料だけでなく、「美」を創造しているのです。毎日の水管理は気を抜かずハードですが、棚田をもっと多くの人に見てもらおうと、環境教育の場づくり、ほかの農産物での高収益化など、夢やアイデアあふれる2人です。

も近いことから、今後は棚田だけでなく、里山里海をテーマに体験してもらおう企画やツーリズムを構想しています。町全体を自然豊かなレジャーランドととらえる都会的なアイデアで多くの人を巻き込んでくれることでしょう。



石部の棚田（1.6ha）でとれるお米は、収換算でおよそ6,000kg。生産では平場に勝てません。町においても棚田の管轄は、企画観光課ですが、棚田を農業だけでなく観光資源ととらえることは、これからの時代、むしろ世界基準ではないでしょうか。都市の過密が課題になっている今、棚田は人々に心身の健康と安らぎ空間というサービスを提供して、都市を救える時代です。

そういえば、以前訪ねた世界遺産、バリ島の棚田はRice Terrace（ライステラス）と呼ばれ、トレッキングルートを整備して、観光客にレジャーと健康を提供していたことを思い出しました。

「石部の棚田」はみんなのふるさといつでもおかえり〜（^^）」



後列左から、山本公協議会会長、鎌田寛正さん、高橋匡史さん、有馬稔さん、高橋治保存会会長



森町南部は、平野部に大規模な水田地帯が広がっています。時期により栽培している作物が変わるため、邑に広がる景色もがらっと変わります。そんな、四季の風景に富んだ森町南部を取材しました。

甘くて柔らかいトウモロコシの秘訣

鈴木農園 鈴木晃会長が農業に従事しはじめた1980年代当時は、新たな農業の担い手がまったくおらず、地域農業の終わりを覚悟したこともあったそうです。そこで、鈴木会長は農業の建て直しのため、1年でトウモロコシ、米、レタスを同じ農場で栽培する「水田3倍活用農法」を作り出しました。この農法は、土の若返りや雑菌予防などのよい影響を与え、それぞれの作物の品質を高めてくれているそうです。
今回の取材では「甘々娘」というトウモロコシを頂きました。ブラジルのトウモロコシはしょっぱくて、あまり柔らかくありません。しかし、鈴木農園のトウモロコシは甘くてとても美味しかったです。
直売所で販売されるトウモロコシは、県外から買いに来る人もとても多いのだそうです。朝7時から販売開始ですが、直売所で作業を始

トウモロコシ畑の中にて。左から クアンさん・鈴木農園(株)鈴木晃さん・チアゴさん



静岡県くらし・環境部多文化共生課 国際交流員
チアゴ・フェルナンド [ブラジル]

この日は5人ほどのベトナム人技能実習生が働いていました



ふじのくに留学生親善大使
静岡大学3年
トン・ユイ・クアン [ベトナム]

める深夜2時30分より前から並ぶ人もいるのだとか。この人気ぶりにはとても驚きました!

皆が頑張っているからこそ見える、森町南部の“美しい”景色

水田3倍活用農法について、鈴木会長は「この農法をどんどん真似してくれてかまわない」と話していました。実際に近隣の農園でもこの農法が採用されており、現在では30軒以上の農園で導入されているそうです。一箇所のトウモロコシが売り切れたとしても、他の農園で買えるようになったからこそ、多くのお客さんが集まってくるのだと感じました。
多くの農園でこの農法が採用されているため、邑全体の景色が季節によってがらっと変化します。取材の日は収穫直前のトウモロコシと、水田が隣り合った景色が見られました。これが冬になると、レタス栽培のためにビニールトンネルを立てるため、雪が降ったように一面真っ白になり、全く違う表情が見られるそうです。森町南部の美しい景色は、地域の方が農業を頑張っている姿を現しているものなのだと感じました。
(文:チアゴ・フェルナンド)

森町南部
もりまちなんぶ

- 車/東名高速袋井ICより約15分、磐田ICより約20分、新東名高速掛川ICより約5分
- 電車/天竜浜名湖鉄道「円田」下車



平野部に一面の水田が広がる、県内屈指の大規模生産地です。毎年皇室に献上される次郎柿のほか、基盤整備された好条件の農地を活かした水稲・レタス・スイートコーンの栽培が盛んです。水田風景は静岡県景観賞を受賞するなど、高い評価を受けています。沿道には直売所が数多く並び、連日来場者で賑わいます。



森町南部のもうひとつの景色を彩るのは「きぎょう」!

香勝寺(きぎょう寺)は桔梗の名所です。平成2年から植え始め、今ではおよそ4万株もの桔梗が咲き誇ります!境内には、あじさいも咲いていて、青、ピンク、白、紫など、様々な色が庭を彩っていました。天気は雨でも、気分は晴れ晴れ!



森町南部近くの「アクティ森」で、甘々娘を使ったクリームブリュレを堪能! 後味の自然な甘みがたまらない!

ベトナム人技能実習生との出会い

鈴木農園では、多くの従業員の方が働いています。取材した日は、トウモロコシの皮を抜いて、販売するための準備している姿を見かけました。従業員の中にはベトナムの技能実習生の姿も。ベトナムでは、近年日本式の農業が目立っています。彼らは、故郷の家族を支えるため、たくさん頑張りたいと話していました。また、一緒に働いている人たちと気軽に話をしながら仕事を進めていけると、いきいきと話していました。やりがいに溢れるその姿に、とても感動しました。(文:トン・ユイ・クアン)

特産物&地元の重要な観光資源だけではない!

ワサビは、農業特産物あると同時に地元の重要な観光資源でもあります。人によって好き嫌いがあるかと思いますが、健康面において高い効能が期待される作物でもあります。そして、ワサビを栽培すること自体にも、大きな効果があるのです。
伊豆地域では、天城山が貯えた豊富な水を利用して、地元で開発された畳石式栽培により緩やかな流れを作り出すことによって、カゲロウの幼虫、カワトンボの幼虫などいろいろな生き物の生息場所になっていることがわかりました。また、この恵まれた環境を維持するために、化学肥料や農薬を使わない環境負荷の少ない農法を行っていることも、豊かな生態系ができてきている一因であることについても知りました。

地元のワサビやわさび田の魅力をもっと広めたい!

在来作物“ワサビ”を守りたい!

わさび田を見て、“自然にあふれた綺麗な景観だな”と感じました。森の奥まで広がった畳石式わさび田は、写真で見るとよりもとても綺麗でした。目でわさび田を見ても生き物はいませんでしたが、網を使い水の中を探ってみると小さな水生昆虫がたくさんいました。採集した生き物を実験室に持ち帰り、実体顕微鏡でからだの特徴を観察しながら生き物の種類を調べていくと、ワサビの株元にはプランナリア(ナミウズムシ)やヤゴなどがいることが判明しました。
わさび田の生き物の調査は、過去にしっかりと行われておらず、私たちの活動が重要になると思います。そのためにも、私たちが定期的にわさび田の生き物調査を行う必要があります。わさび田の生物多様性についてもっと多くの人に発信し、ワサビに関する新たな魅力として多くの人に広めていきたいです。

文: 生産科学科3年植田彩乃
生産科学科3年石渡大介
生産科学科3年立田峻亮

ワサビ栽培の課題~生物多様性の調査まで活動しています。

田方農業高校生産科学科生産技術コースでは、世界・日本農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」について「植物バイオテクノロジー」や「課題研究」の授業で研究に取り組んでいます。令和元年度は水生生物の採集や同定(生き物の種類を特定する作業)を行い、わさび田の生物多様性の価値を学びました。

フィールドワークレポート
田方農業高校
静岡県立田方農業高校では、生産科学科で、地域課題への理解を含めるため、現地でのフィールドワークを行っています。今回は「日本一の水わさびの邑」(伊豆市)での取り組みを紹介します。



わさび田の全景



作り手の説明に興味深々!



専門家による生物調査の説明



生き物の種類を調べる「同定作業」の様子



みんな真剣に調べています

日本一の水わさびの邑
にほんいちのみずわさびのむら
伊豆市湯ヶ島892-6 (天城わさびの里)
●車/東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICより伊豆縦貫道~伊豆中央道~修善寺道路~天城北道路~月ヶ瀬ICを経て国道414号線(約60分)
●電車・バス/伊豆箱根鉄道修善寺駅より東海バス「昭和の森会館」下車(約40分)

伊豆半島の中央部、急峻な天城連山の谷あい広がる日本一の水わさび産地。日本有数の多雨地域に降り注ぐ豊富な雨が湧きとなって、栽培を支えています。この地域で19世紀末ごろに開発された「畳石式」栽培が日本中に普及した経緯があり、栽培発祥の地「有東木(静岡市)」とともに、平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」として世界農業遺産に認定されました。

3 浜石岳と八千代の桜

浜石岳と富士山の風景

旧由比町の最高峰・浜石岳は、標高707mの山頂から駿河湾や富士山が一望できる絶景スポット。最短徒歩30分のハイキングで、季節ごとに多種多様な花と風景のコラボが楽しめます。8月から9月にかけては、ヤマユリとアザミが見頃。ふもとにある八千代地区の農地では、春先に河津桜が咲き乱れます。

知られざる絶景！
花と眺望のコラボに感激



静岡市清水区由比西山寺【浜石岳】
静岡市清水区由比八千代【桜並木】
●期間 / 通年
●交通 / 電車・バス: JR由比駅から徒歩30分
【浜石岳山頂】車: 東名清水ICから約30分(浜石岳駐車場)、登山道徒歩30分
【八千代地区】車: 東名清水ICから約15分

※例年2月中旬には、「オレンジ・浜石S」による「由比八千代桜祭り」が開催されます。過去開催の様子はコチラ↓



浜石岳山頂から見た富士山。例年元旦には初日の出の会、4月末には演奏会等のイベントが行われます。



H29年度農村の魅力フォトコンテスト。佳作「早咲き桜の下で」(黒田敏夫)

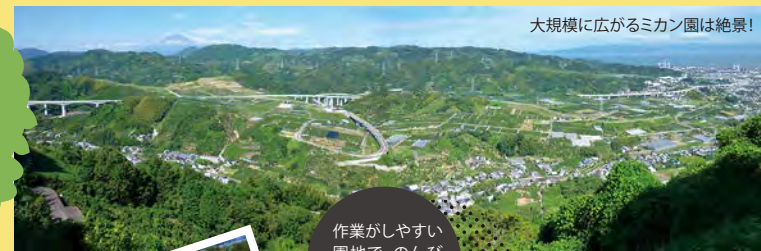
8月から9月にかけて見頃を迎えるヤマユリとアザミ



むらとりっぷ mura trip in

清水エリア (静岡市)

「ふじのくにに美しく品格のある邑」をエリアごとに案内する「むらとりっぷ」。今号は静岡市の清水エリアにある「食」やアクティビティの人気スポットを紹介。街からちょっと足をのばせば、知られざる「ふじのくに」の魅力と出合えそう。



大規模に広がるミカン園は絶景!

作業がしやすい園地で、のんびり収穫体験ができます。



原・新丹谷

ミカンオーナー制度

絶景の中で収穫体験

原・新丹谷地区で、毎年約2,000人を集める「ミカンオーナー制度」。園主が手間隙かけて栽培したミカンを、毎年11月から12月にかけてオーナー登録をした人が収穫します。収穫したミカンは持ち帰り可能! 清水の街並みや駿河湾を見渡しながら、家族でのんびり収穫を楽しんでみませんか。

静岡市清水区庵原地域
☎054-367-3214 (JALみず農地整備課)
●応募 / 6~10月 ●収穫 / 11~12月
●時間 / 9:00~13:00
●料金 / 8,000円(20kg)~
●交通 / 車: 新東名「清水いはらIC」から約3分

※今年度のオーナー募集は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりましたが、おいしいミカンは栽培中! アンテナショップきらりをはじめ、地元の産直売場で購入できます。旬は11~1月。

アンテナショップきらり
静岡市清水区庵原町313-1
☎054-365-1600
●時間 / 9:00~16:00 (火曜定休)
産直プラザふれっぴー庵原店
静岡市清水区庵原町1 ☎054-367-3228
●時間 / 9:30~19:00 (1/1~1/3休)



5 清水区西里

清水西里温泉「やませみの湯」

清流・興津川の支流に位置する「やませみの湯」は、清水森林公園内にある公営日帰り温泉。内風呂のほか、露天風呂は岩風呂・檜風呂各3槽で源泉かけ流しのぬる湯や竹炭湯などがあり、疲労回復や関節痛の改善に効果があると言われています。休憩所では地元食材を使った食事を、売店では地場野菜やお茶製品、紅茶・つくだ煮、自然米(無農薬無化学肥料)、パンにぬる小倉あん、両河内ビール等を販売。
※キャンプ用の薪・乾電池・着火剤・歯ブラシ・ナプキン等も販売

静岡市清水区西里1449
☎054-343-1126
●営業 / 平日9:30~18:00(礼止め17:00)、土・日・祝9:30~19:30(礼止め18:30)
●休館 / 月曜(祝日の場合、翌平日)、年末年始(12/29~1/2)
●料金 / 大人(中学生以上)700円、小学生以下300円

●交通 / 車: 東名清水ICから国道52号、但沼交差点左折県道75号・196号で約35分
新東名新清水ICから国道52号線、但沼交差点右折県道75号・196号で約20分
新東名新清水いはらICから県道75号・196号で約20分
電車・バス: JR清水駅または興津駅から「但沼車庫」へ、両河内自主運行バス(☎054-396-3900※要予約)に乗り換え「西里温泉前」下車 ※平日・土曜運行(日・祝・年末年始は運休)

体が喜ぶ!? 山あいの天然温泉

西里温泉の泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉。露天の岩風呂と檜風呂は週替わりで男女入替制



わさび飯500円
そのほか、桜エビかき揚げ丼980円、さちゃんの特製筍入り手作り肉まん350円



黒川キャンプ場のすぐ目の前。自然を満喫しながら食も堪能できます。



入口ではヤギがお出迎え。ヤギの乳を使ったジェラート(期間限定)も。



森のジェラートcomo

やませみの湯から奥へ約600m。森のジェラートcomoは両河内の自然に囲まれたお店。地域で様々な活動を行っているNPO法人複合力が運営し、食事だけでなく、地域の拠点となる「地域おこしショップ」です。6種類のジェラート、地場の食材を使ったたけのこ肉まん、ピザ、ガレット(季節メニュー)が人気。

静岡市清水区西里1342
☎090-6942-3306
●営業 / 土・日・祝10:30~16:00 ※GW、お盆休み期間中は平日も営業

地域交流の拠点で 地場産品を堪能

4

静岡の特産・お茶やみかんを使ったフレアーなど全6種類。



燃料や具材のかき混ぜにも竹か大活躍

多くの来場者で賑わう祭り会場

善光寺とたけのこ祭り

清流、布沢川が流れる「布沢」で毎年4月に行われる「善光寺とたけのこ祭り」は、平成元年から続くイベント。元々、放任竹林をなんとかしようとした事業で、今では県内外から約3,000人が訪れます。人気グルメは大釜でゆでたタケノコ、しし鍋、よもぎ餅、そばなど。リピーターも続出!

静岡市清水区布沢(布沢公園)
☎054-396-3055 (善光寺とたけのこ祭り実行委員会)

●期間 / 4月中旬(第2土・日)
●時間 / 土曜12:00~15:00、日曜10:00~15:00
●交通 / 車: 新東名新清水ICから車で約6km(約15分)
東名清水ICから車で約8km(約20分)
電車・バス: 清水駅から路線バス「和島車庫」下車、両河内自主運行バス(☎054-396-3900※要予約)に乗り継ぎ、「土」下車後、徒歩約30分
※お祭り時は来場者の車両で非常に混雑します。混雑解消へのご協力をお願いします。



布沢のタケノコは主に関東の市場へ出荷。県内で食べられる機会をお見逃しなく!

毎月開催・開催未定

池の谷・閑蔵 未定 池の谷キャンプ場 集落で運営するキャンプ場。希望があれば「北根の川根茶」の呈茶も。



地域いきいき共生! 恩地町環境みどり会 毎月第3日曜日 9:00~9:30 恩地町みどり朝市 地元の農産物販売



今年度は中止となりました。次回開催をお楽しみに

間の宿 菊川 8月頃 茶の実オイル・あかりアートin菊川の里



徳山 8/15(土) 徳山の盆踊り



千榎の棚田 9月 棚田草刈り・スガイ作り体験



白糸の里 9/19(土) 稲刈り体験



三島箱根西麓地区 7月上旬 三島馬鈴薯祭



千榎の棚田 7/4(土) 棚田草刈り・紅茶づくり



上佐ヶ野わくわくの里 7/13(月)~8/25(火) 9:00~16:00



白糸の里 8/19(水) 伝統行事「文珠祭典と竹灯籠」



五感で癒される湧水の里いのかしら 8/23(日) 陣馬の滝祭り



美竹林と極旨野菜の里 8/23(日) 夏祭り

September 9月~

丹那 9/19(土)~22(火・祝) 酪農王国オラッチェ 23周年王国祭



October 10月~

方ノ上 10月上旬 芋掘り会

方ノ上 10月上旬 餅つき大会

神座鶴網環境美化の会 10/25(日) 神座・大井神社祭典

竜ヶ石山~西四村の里 10/25(日) 9:00~ 稲刈り体験

沼田ロマンチック街道 8/1(土)~9月中旬 10:00~15:00

御殿場市沼田146付近 沼田ブルーベリー狩り園開園



千榎の棚田 8/8(土) 9:00~12:00 棚田草刈り・夏休み生物教室

上倉沢公会堂ほか 菊川市倉沢1121-2



久留女木の棚田~竜宮小僧伝説の邑~ 8/12(水) 15:00~

久留女木小学校体育館(ワークショップ) 久留女木の棚田(流星群観覧会)

縁結びの村のわき 8/16(日) 久野脇灯籠流し

和地ふるさと会 8/23(日) 9:00~ 案山子作り

丹那 7/18(土)~8/31(月) どうもろこし畑の巨大迷路

酪農王国オラッチェ 田方郡函南町丹那349-1



天方 7/23(木祝)~8/23(日) 鮎のつかみ取り



岩本山とかりがね堤を守る邑 7月下旬頃~8月中旬頃 岩本山のひまわり畑



August 8月~

西澤水系 ※実施未定(7月下旬判断) 8/1(土) 13:30~ 案山子づくり

北久原浅間神社境内 御殿場市北久原352

Event Calender 邑のイベントカレンダー 2020 summer



あなたのご意見をお聞かせください 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

July 7月~

浮島地区 7月中旬~8月上旬 浮島まわりらんどでのひまわり開花観賞、撮影

浮島まわりらんど 沼津市平沼字下436 (ほか(看板表示あり))

※コンサート・写真撮影会などのイベントは行わず、写真コンテストの募集のみ

